

鶴岡市ごみ焼却施設外構整備機械設備工事

図面リスト											
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
GM-00	図面リスト										
GM-01	機械設備 特記仕様書	No. scale									
GM-02	排水設備 屋外平面図	1/400 (A1) 1/800 (A3)									
GM-03	ロードヒーティング設備 屋外配置図	1/300 (A1) 1/600 (A3)									
GM-04	ロードヒーティング設備 配管平面図	1/300 (A1) 1/600 (A3)									
GM-05	ロードヒーティング設備 配管詳細図	1/5,10 (A1) 1/10,20 (A3)									

鶴岡市ゴミ焼却施設外構整備機械設備工事 特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 山形県鶴岡市宝田3丁目13番地6号
2. 建築概要
建物名称 構造 階数 建築基準法上の延面積(m2) 消防法施行令別表第1の区分 備考
玄関棟 S SC SRC造 5階 2階 7473.68 15項 既設
玄関棟 S造 3階 383.10 15項 既設
計室棟 S造 1階 137.50 15項 既設

3. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事)
建物外及び屋外 工事種目 備考
工事項目
○ 空調設備
○ 換気設備
○ 排煙設備
○ 自動制御設備
○ 衛生器具設備
○ 給水設備
○ 排水設備
○ 給湯設備
○ 消火設備
○ ガス設備
● ロードヒーティング設備

4. 指定部分 ○ 無し ○ 有り (範囲:) 工期: 令和 年 月 日)

5. 設備概要 (●印の付いたものを適用する)
方式 設備概要
空気調和方式
主要熱源機器
換気設備
排煙設備
自動制御方式
給水方式
給湯方式
消火設備方式
ガス設備方式

II. 工事仕様

- 1. 共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、全て「富樫工事共通特記仕様書(最新版)」(山形県土木整備部 建設住宅課審査室制定)及び国土交通大臣官庁官庁指定の下記仕様書の内、●印が付いたものを適用する。
● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版) (以下「標準仕様書」という)
● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版) (以下「改修標準仕様書」という)
● 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(最新版) (以下「標準図」という)
「富樫工事共通特記仕様書」https://www.pref.yamagata.jp/180025/kurashi/suim/eizen/koji/kojihome.html
(2) 電気設備工事及び建築工事本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を活用する。なお、電気設備工事の特記仕様は(/) 図、建築工事の特記仕様は(/) 図による。

- 2. 特記仕様
項目及び特記事項は、●印のついたものを適用する。

表: 特記事項
項目 特記事項
○ 余裕期間制度
● 適用基準等
○ 適用区分
● 他工事との取合い
● 監督職員事務所
● 発生材の処理等

○ 特定建設資材廃棄物の発生材の処理
特定建設資材廃棄物の種類 施設の名称・住所・運搬距離[km] 等
○ コンクリート
○ コンクリート及び鉄からなる建設資材
○ 木材
○ アスファルト・コンクリート
○ 特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理等
○ 現場において再利用を図るもの()
○ 発注者に引渡しを要するもの()
○ 特別処理産業廃棄物 ()
○ 再資源化を図るもの ()
○ 上記以外に発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化を図るものとし、処理方法は監督職員と協議する。
○ 再利用、減量化等を含めた発生材の搬出処理方法は別途とする。

- 建設発生土の処理
○ 建設発生土(埋戻し及び盛土用)の取捨場所
○ 埋戻し及び盛土
○ 環境への配慮

- 機材の品質等
(1) 本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他、通常すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 別表に機材名等が記載された製造業者等は、次の①から⑥まで事項を満たす証明となる資料を提出し、監督職員の承認を受ける。ただし、次の①から⑥全ての事項を詳細に示した事項を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

別表 品質及び性能に該当する材料・機器等
鉄鋼製ボイラー
銅製ボイラー
チリウムユニット
連心冷凍機
自動運転エアフィルター
連心送風機(多変形送風機)
消音ボックス付送風機
水栓付トイレ(汚水用、雑排水用、汚物用)
衛生器具ユニット
排水ポンプ
防炎防熱断熱材(複層断熱材、防火断熱材)
泡消火システム
マンホールふた・弁封ふた

- 機材の承認図
設備機器の固定は、次に示す事項を除き、全て建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。ただし、重量1kN以下の一般機器については、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。
(1) 設計用水平地震力 機器の重量[kN](水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量)、地域係数0.9及び次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。

設計用標準水平地震度
設置場所 機器種別 ○ 特定の施設 ○ 一般の施設
重要機器 一般機器
重要機器 一般機器
重要機器 一般機器

- 仮設工事
(建築工事の部)特記仕様書による
○ 足場その他
○ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる
○ 本工事で設置する
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
○ 内部足場 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 ○ F種 ○ G種
○ 外部足場 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 ○ F種
防塵シート ○ 設置する ○ 設置しない

- 仮設工事
(建築工事の部)特記仕様書による
○ 足場その他
○ 別契約の関係受注者が設置したものは無償で使用できる
○ 本工事で設置する
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
○ 内部足場 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 ○ F種 ○ G種
○ 外部足場 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 ○ F種
防塵シート ○ 設置する ○ 設置しない

- 完成時の提出図書
監督職員との協議による。なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。
完成図 提出図書
● CADで新規作成 ○ 既存完成図の修正
原図 A1判 1部 A1判 1部 3つ折りケース収納
複写図 A1判 1部 A1判 1部 2つ折り製本
CADデータ ● 要 ○ 不要 ● 要 ○ 不要 要の場合、3つ折り7枚も提出(2部)
備考) 施工図で、原因を提出できないものは原因に代わる図で良い。

- 技能士の適用
● 電源周波数
50Hz
● 総合運転調整

- 電動機
○ 弁等のサイズ
○ 支持及び固定

- 支持金物・固定金具
(1) ポンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製(SUS304)とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキップ(樹脂製)を取り付ける。
(2) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
(3) 冷水及び冷温水管のバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。
(4) 冷媒管の吊り用支持材として保護プレートや、断熱材被覆管等と吊金具との間に掛け、自重による断熱材の食い込みを防止する。
図示の箇所に施工する。施工方法は「標準図」建築物導入部の変位吸収型管(一)、(二)による。
○ (a) ○ (b) ○ (c)

- 保温外装
○ 塗装
○ 地中埋設機等
○ 配管
○ 溶接部の非破壊検査
○ 電線類
○ 絶縁継手取付箇所
○ 容量等の表示
○ 案内板等

- 設計室温度
外気条件 屋内(調整目標)
温度(Db) 湿度(RH) 温度(Db) 湿度(RH) 温度(Db) 湿度(RH)
9時 12時 14時 16時
夏季 冬季

- ばい煙濃度計
○ 煙突
○ 煙灰製煙道
○ ダクト
○ 風量測定口
○ ダンパー

- 配管材料
(1) 冷温水管 ○ 配管用炭素鋼管(白)
(2) 冷却水管 ○ 配管用炭素鋼管(黒)
(3) 高気管 (給気管) ○ 配管用炭素鋼管(黒) (送管) ○ 圧力配管用炭素鋼管(黒)(Sch40)
(4) 油管、油用送気管(一般) ○ 配管用炭素鋼管(黒) (土中) ○ ポリエチレン被覆鋼管
(5) 脚張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラー等への接続給水管 ○ 配管用炭素鋼管(白)
(6) 空調用補給水管 ○ ステンレス鋼管(SUS304)
(7) 空調用排水管 ○ 配管用炭素鋼管(白) ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
(8) 冷媒管 ○ 断熱材被覆鋼管(難燃性)

- 弁類
○ 配管用伸縮管継手
○ 温度計
○ 瞬間流量計
○ チャンパー

- 保温
○ 塗装

- 排煙設備
○ ダクト
○ 排煙口の形式
○ 排煙口の開放装置
○ 排煙風量測定方法
○ 送風事項
○ 開放形漏洩用排気フード
○ 厨房用排気ダクト
○ 厨房用排気フード
○ 厨房用排気ダクト
○ 多湿箇所の排気ダクト
○ 保温

- 自動制御設備
○ 中央監視制御装置
○ 構成・機能
○ 計装用配線

- 衛生器具設備
○ 大便器洗浄方法
○ 大便器用洗浄弁
○ 小便器自動洗浄
○ 器具付風水栓
○ 衛生器具ユニット

- 給水設備
○ 弁類
○ 不凍水栓柱
○ 給水栓
○ 埋設深さ
○ 保温
○ ステンレス鋼管の接合方法
○ 引込納付金等

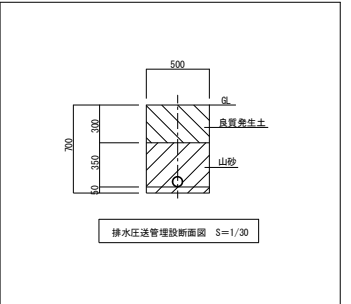
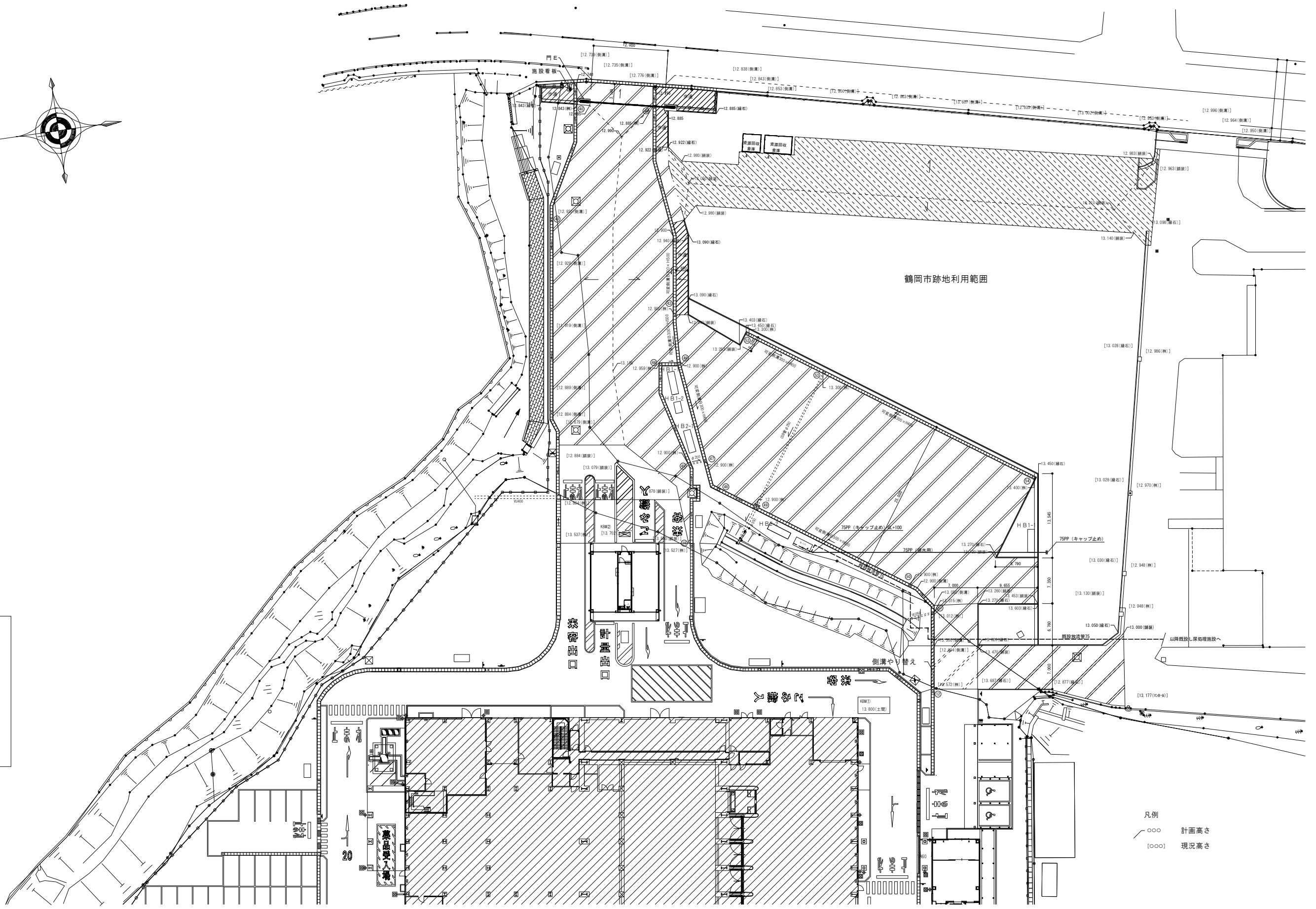
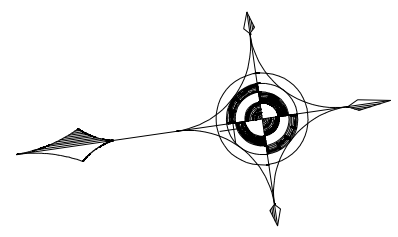
- 排水設備
● 配管材料
○ 排水用硬質塩化ビニルラインング鋼管
○ ビル管(RF-V、衛生器具との接続部に限る)
○ 排水用炭素鋼管(白)
○ 配管用炭素鋼管(白)
○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(RS-VU) [車道部以外]
○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(車道部)
○ 配水管用炭素鋼管(白)
○ 配水管用炭素鋼管(黒)
○ 下水用ポリエチレン管(難燃性)
○ 雑排水・湧水系)

- 給湯設備
○ 配管材料
○ 弁類
○ 保温

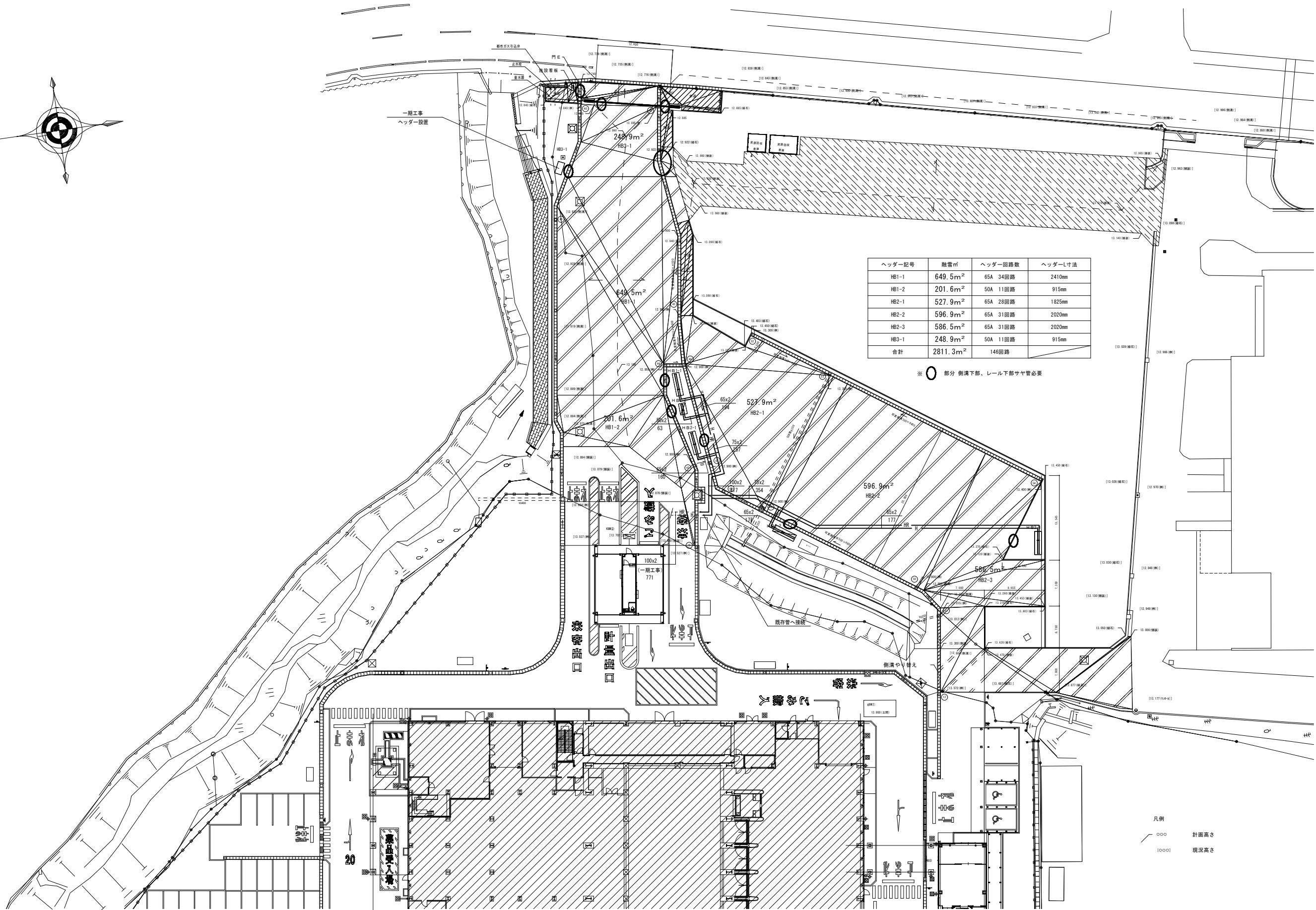
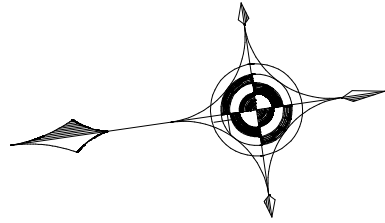
- 消火設備
○ 屋内消火栓検出器
○ 地下埋設配管の接合
○ 保温
○ 不活性ガス消火設備
○ 泡消火設備

- ガス設備
○ 配管材料
○ 観メーター
○ ギャスター
○ ガスボンベ
○ バルクタンク
○ ガス漏れ警報器

- ロードヒーティング設備
● 配管材料
● 断熱材
○ 温水配管
○ ヒーティングパイプ
○ 断熱二重熱ポリエチレン管(NGRT)
○ 被覆ポリエチレンパイプ16A
○ ステンレス製(SUS304) 取付架台合



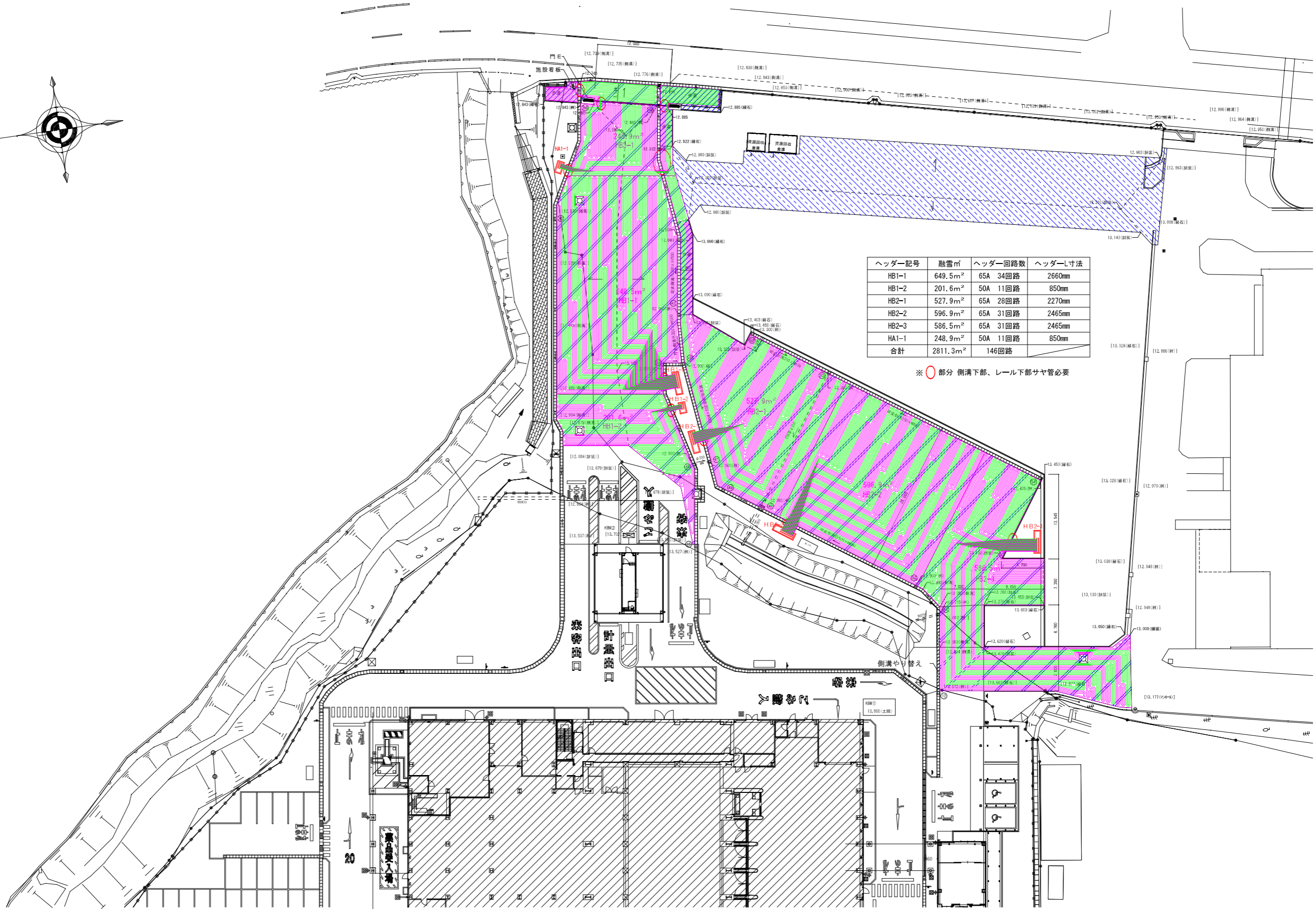
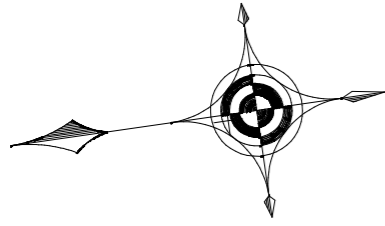
凡例
 ○○○ 計画高さ
 (○○○) 現況高さ



ヘッダー記号	融雪m ²	ヘッダー回路数	ヘッダー寸法
HB1-1	649.5m ²	65A 34回路	2410mm
HB1-2	201.6m ²	50A 11回路	915mm
HB2-1	527.9m ²	65A 28回路	1825mm
HB2-2	596.9m ²	65A 31回路	2020mm
HB2-3	586.5m ²	65A 31回路	2020mm
HB3-1	248.9m ²	50A 11回路	915mm
合計	2811.3m ²	146回路	

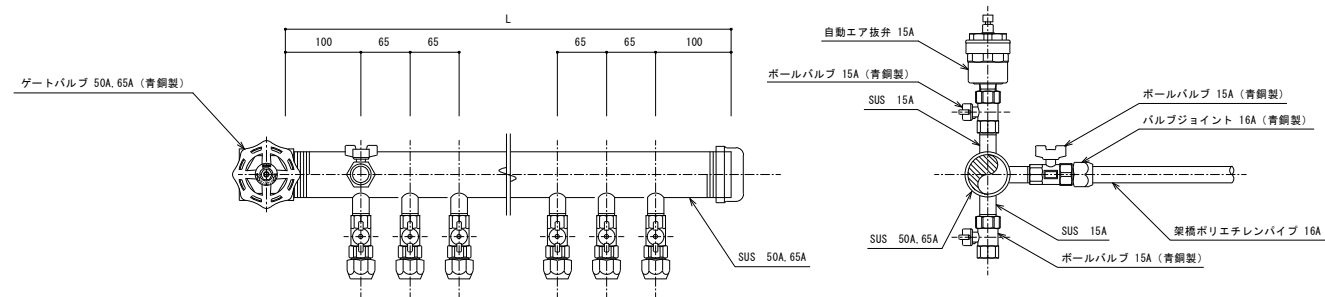
※ ○ 部分側溝下部、レール下部サヤ管必要

凡例
 ○○○ 計画高さ
 (○○○) 現況高さ



ヘッダー記号	融雪㎡	ヘッダー回路数	ヘッダー寸法
HB1-1	649.5㎡	65A 34回路	2660mm
HB1-2	201.6㎡	50A 11回路	850mm
HB2-1	527.9㎡	65A 28回路	2270mm
HB2-2	596.9㎡	65A 31回路	2465mm
HB2-3	586.5㎡	65A 31回路	2465mm
HA1-1	248.9㎡	50A 11回路	850mm
合計	2811.3㎡	146回路	

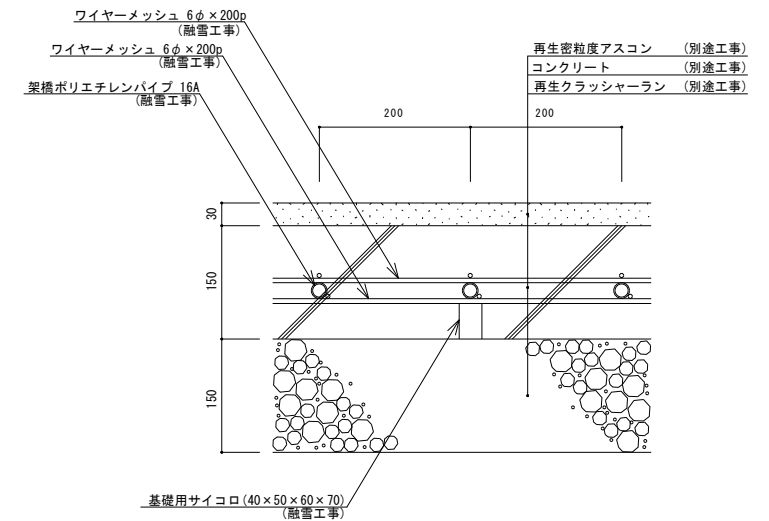
※ 〇部分 側溝下部、レール下部サヤ管必要



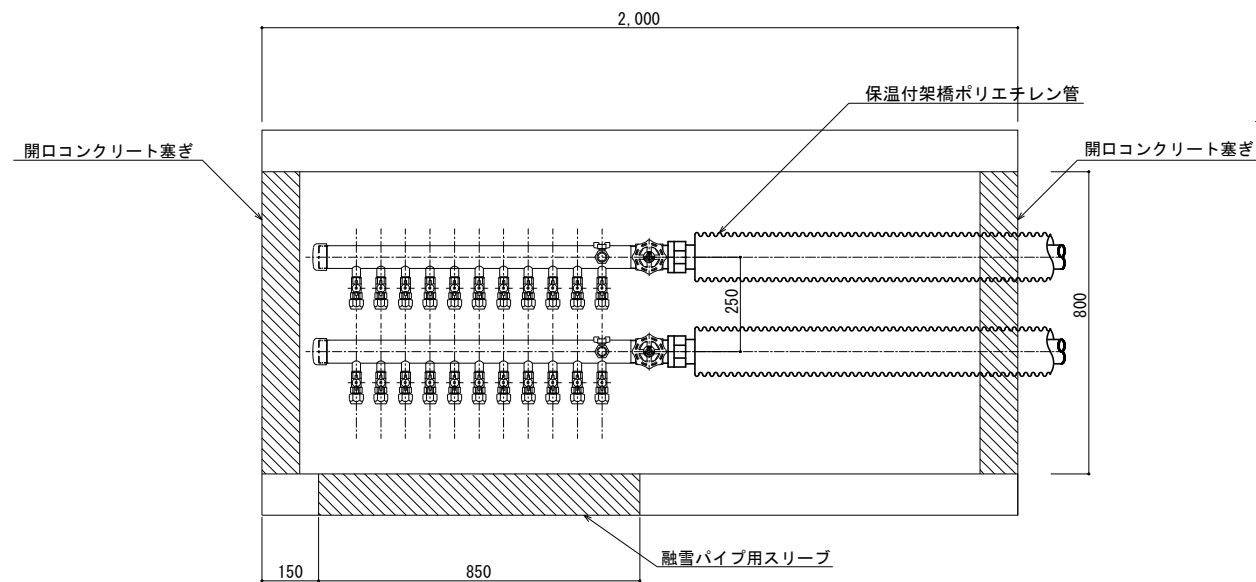
ヘッダー詳細図 S = 1/5

ヘッダー記号	回路	管径	L-寸法	面積	備考
HB1-1	34	65A	2,660mm	649.5㎡	
HB1-2	11	50A	850mm	201.6㎡	
HB2-1	28	65A	2,270mm	527.9㎡	
HB2-2	31	65A	2,465mm	596.9㎡	
HB2-3	31	65A	2,465mm	586.5㎡	
HA1-1	11	50A	850mm	248.9㎡	既設

ヘッダー寸法表

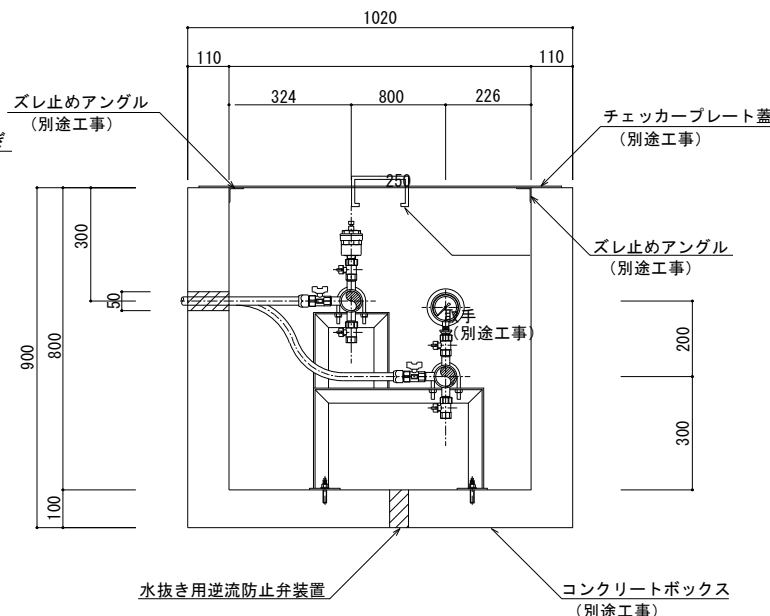


参考断面図 S = 1/5

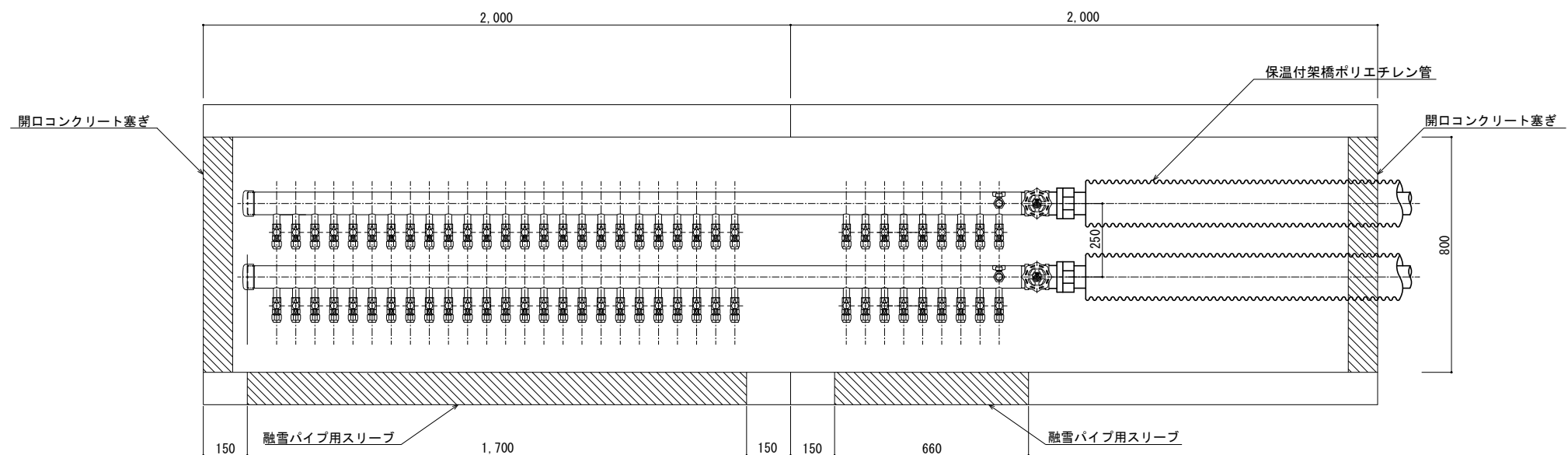
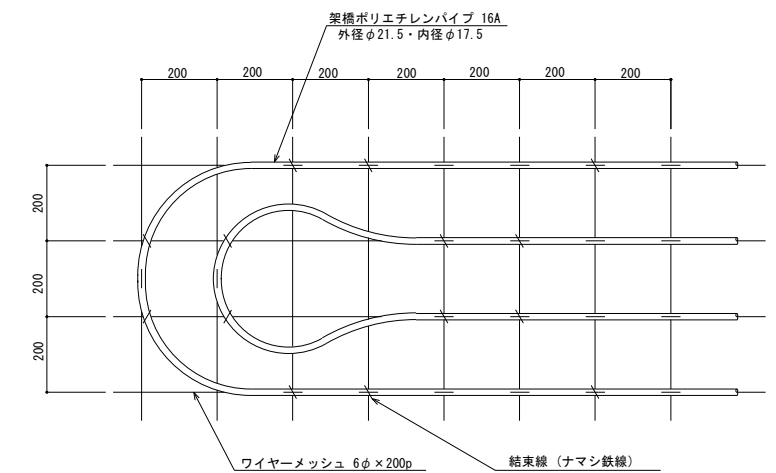


ヘッダー取付参考図 S = 1/10

※11回路



放熱管敷設詳細図 S = 1/10



ヘッダー取付参考図 S = 1/10

※34回路

